

試験研究(事前)評価整理表

試験研究機関名 ハイテクプラザ
 所 管 課 産業振興課

No.	施策目標等		試験・研究課題名	試験研究始期・終期		予算額 当初全体予 算額(千円)	具体的評価項目				総合評価		部局コメント	外部アドバイザーコメント
	施策目標	研究課題分類		始期	終期		研究ニ ズ把握手 法	研究計画 の妥当性	研究目的 の妥当性	施策目標 との関連 性	1次評価	2次評価		
1	地域の企業における 技術力・開発力の強 化に向けた支援	福島県オリジナル清 酒製造技術の開発	多様な清酒開 発に向けた製 麹技術基盤の 構築	R5	R7	49,883	A	A	A	A	A	A	本研究の遂行により代表的な 県産品である清酒製造の持続 的発展が期待される。	製麹工程は、清酒にとって非常に重要な工程の一つで、 古来より「一麹、二もと、三造り」といわれる。これまで多く の酒造場では、杜氏や麹造り職人(麹屋)の勘に頼ると ころが多く、数値化することで、多くの酒造場での共有につ ながる。これによって福島県内の酒造場のレベルアップ につながると考えられる。成果は、特許による権利化後、 広く学会誌などに公表することを望む。
2	地域の企業における 技術力・開発力の強 化に向けた支援	基盤技術開発支援事 業	弾性編地の開 発と評価に関す る研究	R5	R5	300	A	A	A	A	A	A	繊維関連企業の非アパレル分 野への進出は急務であり、積極 的に実施すべきである。	繊維関連産業の付加価値を高め、より広いニーズに対 応するために、有意義な研究であると思う。 実施内容(さらに拡張して欲しい期待も含め)と比して、 予算が低額である気がする。試作・評価が潤沢に実施で きるようにして、(本研究の目的から逸れる結果であつて も)次の開発の種も見出して欲しい。

試験研究(事前)評価整理表

試験研究機関名 衛生研究所
所 管 課 薬務課

No.	施策目標等		試験・研究課題名	試験研究始期・終期		予算額 当初全体予 算額(千円)	具体的評価項目				総合評価		部局コメント	外部アドバイザーコメント
	施策目標	研究課題分類		始期	終期		研究一 ズ把握手 法	研究計画 の妥当性	研究目的 の妥当性	施策目標 との関連 性	1次評価	2次評価		
1	第4章3 暮らし 政策2 災害に強く治安が確保されている安全・安心な県づくり 施策5 消費生活・食の安全・安心の確保	食の安全・安心の確保	市場に流通する魚介類のアニサキス寄生状況調査	R5	R7	1,590	A	A	A	A	A	A	<p>アニサキスを原因とする食中毒は、全国で発生している食中毒の3割から4割を占めており、最も発生件数の多い食中毒である。</p> <p>アニサキスによる食中毒は、寄生している魚介類の生食が原因であるため、県内に流通する魚介類のアニサキス寄生状況を把握することは、県民の食の安全を守るために重要であり、広く食中毒行政に寄与できると考えられるため、本調査研究を実施する必要がある。</p>	食中毒の予防対策のためには、実態調査により汚染の要因を解析し、リスク管理につなげることが重要である。したがって、これまでの他のアニサキス食中毒に関する調査報告を確認し、事例収集の際に、魚介類の種類や採取場所、採取時期以外の調査項目を収集可能な範囲で設定し、解析してはどうか。
2	第4章3 暮らし 政策2 災害に強く治安が確保されている安全・安心な県づくり 施策5 消費生活・食の安全・安心の確保	食の安全・安心の確保	畜水産物中の動物用医薬品検査における妥当性評価と検査拡充に向けての検討	R5	R7	2,217	A	A	A	A	A	A	<p>市場に流通している畜水産物の動物用医薬品検査を幅広く実施することにより、食の安全・安心を確保することができ、広く食品衛生行政に寄与できる。</p>	新たな試験法の導入にあたり、妥当性評価試験の実施と導入が適切に段階を追って計画されている。 畜水産物の種類により、目標値を満たさない化合物もあると考えられることから、対象成分は使用実態やこれまでの検出事例を踏まえたものであるとのおお良いと考えられる。また、最終年度は技能試験の参加を検討してはどうか。
3	第4章3 暮らし 政策2 災害に強く治安が確保されている安全・安心な県づくり 施策6 生活衛生の確保による、快適な環境づくり	生活衛生の確保	ICP-MSを用いた飲用井戸・温泉水中の重金属成分の一斉分析法の検討	R5	R6	673	A	A	A	A	A	A	<p>天災・事故といった水質異常時に迅速・正確に県機関自らが実施し、本年度整備したICP-MSの資産を有効活用することが望まれる。</p>	微量物質の検出能力や検査のコスト削減の面から、ICP-MSを用いた試験の妥当性評価を早急に検討し、行政検査として運用できることが望まれる。計画は、適切なものとする。